

科目名	プレゼンテーション 2							年度	2025
英語科目名	Presentation 2							学期	後期
学科・学年	機械設計科 2 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	野崎 甚司		教員の実務経験		あり	実務経験の職種		研究開発	
【科目の目的】									
1年次履修の「プレゼンテーション 1」における基本的なプレゼンテーション知識・ツールリテラシをベースとして、実際の社会現場において顧客プレゼンテーションを行う事を想定した実践的なプレゼンテーション技法を習得するとともに、人前で自己表現する事を反復練習によって体得する。									
【科目の概要】									
卒業展に向け、自身の製作した作品の製作背景から今後の展望までのプレゼンテーションを準備及び、実践練習を行う。									
【到達目標】									
基本的なコミュニケーションとしてのプレゼンテーションを学び、学校での学び・インターンシップ・将来の仕事・社会生活の中で、自分の意見を効率的に伝えることができるコミュニケーションスキルを身に付けることを目標とする。									
【授業の注意点】									
職業人としての知識習得の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、試験合格に向けて各自問題演習を行い合格をめざすこと。ただし、授業時数の 4 分の 3 以上出席（オンライン授業含む）しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル 5	レベル 4	レベル 3	レベル 2	レベル 1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A (自己表現)	プレゼンテーションツールを活用し自身の意見を表現し、聞き手の心を動かすことができる	プレゼンテーションツールを活用し自身の意見を表現し、聞き手の心を動かすことができる	プレゼンテーションツールを活用し自身の意見を表現できる	プレゼンテーションツールは活用できるが自身の意見は表現できない	プレゼンテーションツールが活用できず自己表現もできない				
到達目標 B (グループワーク)	グループでプレゼンテーションを行い自身の意見を表現し、聞き手の心を動かすことができる	グループでプレゼンテーションを行いグループの意見を資料で表現できる	グループでプレゼンテーションを行うことができる	周囲の力を借りてグループでプレゼンテーションを行うことができる	グループでプレゼンテーションを行うことができない				
到達目標 C (段取り)	準備スケジュールに沿った、日程とタスク管理ができ、且つ更なる独自の工夫や改善を行っている	準備スケジュールに基づき、日程遅延・タスク取りこぼしなく適切な準備ができている	準備スケジュールに基づき、日程遅延なく適切な準備ができている	準備スケジュールに対し、一部間に合わない項目が発生した	準備スケジュールに対し、アウトプットが出来ていない				
到達目標 D (パネル表現)	作品アピールやオリジナリティに富んだパネル表現が出来ている	必要な項目だけではなく、作品のアピールがしっかりと表現できている	必要な項目がパネルで表現できている	パネルに必要な項目が一部不足している	パネルが期日までに準備できていない				

到達目標 E (ツール理解の再確認)		プレゼンテーション ツールの使い方を理解し自身のオリジナルで実践できる		プレゼンテーション ツールの使い方を理解し実践できる		プレゼンテーション ツールの使い方を理解している		周囲の力を借りれば プレゼンテーション ツールを活用することができる		プレゼンテーション ツールの使い方が解らない	
【教科書】											
各授業において適時必要な参考資料を配布する。											
【参考資料】											
【成績の評価方法・評価基準】											
中間発表 30% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 最終発表 60% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 10% 提出物等の期限厳守を積極的な授業参加、授業態度として評価する											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											
科目名		プレゼンテーション 2							年度	2025	
英語表記		Presentation 2							学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル				評価方法	自己評価	
1	プレゼンテーション実践 1	中間発表プレゼンテーション準備 1	1	アウトライン作成①	中間発表に向けたプレゼンテーション資料を準備する				3		
			2	アウトライン作成②	中間発表に向けたプレゼンテーション資料を準備する						
			3	アウトライン作成③	中間発表に向けたプレゼンテーション資料を準備する						
2	プレゼンテーション実践 2	中間発表プレゼンテーション準備 2	1	発表資料作成①	中間発表に向けたプレゼンテーション資料を準備する				3		
			2	発表資料作成②	中間発表に向けたプレゼンテーション資料を準備する						
			3	発表資料作成③	中間発表に向けたプレゼンテーション資料を準備する						
3	プレゼンテーション実践 3	中間発表プレゼンテーション準備 3	1	発表資料作成④	中間発表に向けたプレゼンテーション資料を準備する				3		
			2	発表資料作成⑤	中間発表に向けたプレゼンテーション資料を準備する						
			3	発表資料作成⑥	中間発表に向けたプレゼンテーション資料を準備する						
4	プレゼンテーション実践 4	中間発表事前練習とフィードバック	1	事前発表練習	発表時間、内容、質疑の練習を行い改善点を抽出する				3		
			2	発表資料改善	発表内容の改善を行う						
			3	発表文言改善	発表者の文言、質疑内容を改善する						
5	プレゼンテーション実践 5	中間発表プレゼンテーション	1	中間発表	中間発表を行い、自己表現を行う				2		
			2	他者評価	他者の発表を考察し、自身の発表との比較を行う						
			3	振り返り	振り返りによって、改善点を抽出する						
6	プレゼンテーション実践 6	卒業製作プレゼンテーション準備 1	1	中間発表課題改善①	最終発表・展示に向けた資料準備を行う				3		
			2	中間発表課題改善②	最終発表・展示に向けた資料準備を行う						
			3	中間発表課題改善③	最終発表・展示に向けた資料準備を行う						
7	プレゼンテーション実践 7	卒業製作プレゼンテーション準備 2	1	最終発表アウトライン作成①	最終発表・展示に向けた資料準備を行う				3		
			2	最終発表アウトライン作成②	最終発表・展示に向けた資料準備を行う						
			3	最終発表アウトライン作成③	最終発表・展示に向けた資料準備を行う						

8	プレゼンテーション実践 8	卒業製作プレゼンテーション準備 3	1 発表資料作成①	最終発表・展示に向けた資料準備を行う	3	
			2 発表資料作成②	最終発表・展示に向けた資料準備を行う		
			3 発表資料作成③	最終発表・展示に向けた資料準備を行う		
9	プレゼンテーション実践 9	卒業製作プレゼンテーション準備 4	1 発表資料作成④	最終発表・展示に向けた資料準備を行う	3	
			2 発表資料作成⑤	最終発表・展示に向けた資料準備を行う		
			3 発表資料作成⑥	最終発表・展示に向けた資料準備を行う		
10	プレゼンテーション実践 10	卒業製作プレゼンテーション準備 5	1 発表資料作成⑦	最終発表・展示に向けた資料準備を行う	3	
			2 発表資料作成⑧	最終発表・展示に向けた資料準備を行う		
			3 発表資料作成⑨	最終発表・展示に向けた資料準備を行う		
11	プレゼンテーション実践 11	卒業製作プレゼンテーション準備 6	1 発表資料作成⑩	最終発表・展示に向けた資料準備を行う	3	
			2 発表資料作成⑪	最終発表・展示に向けた資料準備を行う		
			3 発表資料教員確認	最終発表・展示に向けた資料準備を行う		
12	プレゼンテーション実践 12	卒業製作プレゼンテーション準備 7	1 展示パネル作成①	展示パネルのレイアウトを検討する	3	
			2 展示パネル作成②	展示パネルのレイアウトを検討する		
			3 展示パネル作成③	展示パネルのレイアウトを検討する		
13	プレゼンテーション実践 13	卒業製作プレゼンテーション準備 8	1 展示パネル作成④	展示パネルを製作する	3	
			2 展示パネル作成⑤	展示パネルを製作する		
			3 展示パネル作成⑥	展示パネルを製作する		
14	プレゼンテーション実践 14	卒業製作プレゼンテーション事前練習及び、フィードバック	1 事前発表練習	発表時間、内容、質疑の練習を行い改善点を抽出する	2	
			2 発表資料改善	発表内容の改善を行う		
			3 発表文言改善	発表者の文言、質疑内容を改善する		
15	プレゼンテーション実践 15	卒業製作プレゼンテーション	1 最終発表	最終発表を行い、自己表現手法を確認する	2	
			2 他者評価	他者の発表を考察し、自身の発表との比較を行う		
			3 振り返り	振り返りによって、今後の改善点を抽出する		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						